

### Ⅲ. 教育の実施体制

# 1. 教員組織

## (1) 教員数・構成 (2009年5月1日現在)

### 1) 専任教員数

学科等名	専任教員数					設置基準で定める教員数 ( )内は教授数	助手	副手・補助職員・技術職員等	備考
	教授	准教授	講師	助教	計				
情報処理学科	5	3	1	0	9	7 (3)	0	0	
国際文化学科	4	5	2	0	11	5 (2)	0	0	
(小計)	9	8	3	0	20	12 (5)	0	0	
学科外所属	0	0	0	0	0		0	2	
(合計)	9	8	3	0	20	4 (2)	0	2	

\* 設置基準で定める教員数 (合計) 欄には、短期大学全体の入学定員に応じて定める専任教員数 (第22条別表第1のロ) を記載している

### 2) 専任教員年齢構成

区分	専任教員(助教以上)年齢構成							助手等の平均年齢	備考
	70以上	60~69	50~59	40~49	30~39	29以下	平均年齢		
両学科合計 20人	0	8	5	4	3	0	53.0		

### 3) 専任教員名簿

(専任教員)

職名	氏名	(学) 東海大学 採用年月日	福岡短期大学 発令年月日	現職発令 年月日
学長	高橋 守人	70.4.1	06.10.1	09.4.1
情報処理学科	主任・教授	矢原 充敏	93.4.1	09.4.1
	教授	伊津 信之介	80.4.1	03.4.1
	教授	斎藤 守正	74.4.1	09.4.1
	教授	貝田 翔二	77.4.1	08.4.1
	教授	佐竹 則昭	07.4.1	07.4.1
	准教授	末松 泰子	92.4.1	02.4.1
	准教授	徳永 克美	74.4.1	99.4.1
	准教授	八尋 剛規	92.4.1	09.4.1
	講師	宮川 幹平	03.4.1	03.4.1
国際文化学科	教授	高橋 守人	70.4.1	06.10.1
	学長補佐・教授	真下 仁	90.4.1	08.4.1
	主任・教授	宮内 順	00.4.1	09.4.1
	教授	吉岡 メリー エレン	91.4.1	05.4.1
	准教授	赤井 ひさ子	92.4.1	00.4.1
	准教授	伊原 奉賢	93.10.1	96.4.1
	准教授	神山 高行	93.4.1	99.4.1
	准教授	竹内 裕二	07.4.1	09.4.1
	准教授	チョウ アンナ	07.4.1	09.4.1
	講師	大方 優子	04.4.1	04.4.1
	講師	北濱 幹士	04.10.1	05.4.1

(2) 教員の授業担当数 (2009 年度)

1) 専任教員担当授業数

所属	総コマ数 (年間)	教員一人当たりの担当持ちコマ平均 (1 週間)				
		全体平均	教授	准教授	講師	助教・助手
情報処理科	61	6.8	6.1	7.5	8.0	
国際文化学科	74	6.7	5.5	7.4	7.5	
計	135	6.8	5.8	7.4	7.7	

2) 兼任教員 (非常勤教員) 担当授業数

科目種別	総コマ数 (年間)
両学科共通科目	16
情報処理科専門科目	9
国際文化学科専門科目	10
計	35

2. 教育環境

(1) 校地面積等

- ・校地面積 77,714.71 m<sup>2</sup>
- ・建物面積 11,605.01 m<sup>2</sup>
- ・建物別・用途別面積 (登記簿謄本上面積) (単位: m<sup>2</sup>)

	1号館	2号館	3号館	部室	守衛室	エネルギー棟	体育倉庫	プロパン庫	コモンホール	合計
階数	6	5	2	2	1	2	1	1	3	
床面積	3,962.07	4,222.80	1,220.00	297.82	28.94	181.30	38.03	7.50	1,646.55	11,605.01

【内訳】

講義室	1,370.06	1,144.47	-	-	-	-	-	-	-	2,514.53
演習室	95.62	652.40	394.17	-	-	-	-	-	-	1,142.19
研究室	317.80	299.70	-	-	-	-	-	-	-	617.50
管理関係その他	1,920.85	1,270.43	94.83	-	28.94	181.30	-	7.50	-	3,503.85
学生会館	226.24	-	731.00	-	-	-	-	-	-	957.24
課外活動施設	-	-	-	198.15	-	-	-	-	-	198.15
図書館	-	855.80	-	-	-	-	-	-	-	855.80
講堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
体育施設	-	-	-	99.67	-	-	38.03	-	1,646.55	1,784.25
附属研究室	31.50	-	-	-	-	-	-	-	-	31.50
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 教室環境とその整備体制

号館	階	教室名	整備状況
1号館	3階	保育学演習室	ピアノ2台
		1302 教室	特に無し
		1303 教室	移動マイクアンプ有
		1304 教室	特に無し
		1305 教室	移動マイクアンプ有
		1306 教室	特に無し

	4階	1307 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		1401 教室	マイク使用可
		1402 教室	特に無し
		1403 教室	特に無し
		1404 教室	特に無し
		1405 教室	特に無し
		1406 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有、書画カメラ有
	5階	視聴覚教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 テレビ（BS・CS放送受信可）
LL 教室		プロジェクター有	
2号館	1階	2102 教室	特に無し
	3階	コンピュータ実習室 1	コンピュータ 52 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 2	コンピュータ 32 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 3	コンピュータ 26 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD, VHS, DV, HDD ビデオレコーダー有
		コンピュータ実習室 4	コンピュータ 28 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 5	コンピュータ 8 台 MIDI コントローラ、USB ミキサー、ボーカルマイク、 CDJ、DAW・総合音源、VOCALOID 初音ミク使用可
4階	ゼミ室 2・3	移動マイクアンプ有	
5階	2501 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可	
	2502 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD, VHS 有	

### (3) 整備状況（10万円以上の工事）

#### 1) 1号館揚水ポンプ改修工事

1号館受水槽揚水ポンプは設置後20年目に入り、これまで劣化部分を補修してきたが、腐食が著しく今後館内に給水できない状況に陥ることが懸念される。2号館揚水ポンプは2008年度に改修が済んでおり、1号館にも水が供給できなければ、学校運営にも影響を及ぼすので、揚水ポンプの取替改修工事を実施した。

#### 2) 1・2号館トイレ廻り改修工事

1・2号館のトイレに配水管の詰まりや便器フタの不良などがあり、改修工事を実施した。

#### 3) 1号館2階湯沸し室改善工事

1号館2階の湯沸し室の温水器が故障し、湯が出ない状況なので、給湯できるよう温水器を取り替え、既存の配管も改善する工事を実施した。

#### 4) 2号館3階コンピュータ実習室全熱交換器修理・取替工事

コンピュータ実習室1・2の熱交換機の故障により、給排気ができないため、実習室1は修理、実習室2は取り替えの改善工事を実施した。

#### 5) エネルギー棟外壁改修工事

本学開学後20年が経ち、随所に雨水漏れによる腐食が進んでいる。5ヶ年計画で1・2号館のバルコニー塗装工事、防水工事及び吹付塗装工事を実施し、続いてエネルギー棟の改修工事（吹付）を実施した。

#### 6) エネルギー棟自動ブロー装置制御盤BOX取替工事

エネルギー棟の空調用冷凍機（2機屋上設置）の自動ブロー制御盤BOXが腐食のため、制御盤が故障する可能性が出てきたので、取替工事を実施した。

### 7) 昇降機（エレベータ）設備に対する機能維持工事

2号館2階図書館内にエレベータを設置しているが、定期点検の際に各所に不具合が報告されたので、建築基準法により機能維持工事を実施した。

### 8) コモンホール3階体育準備室（教員室）空調機修理工事

コモンホールの体育準備室（教員室）の空調機は圧縮機の故障により稼動できない状況なので、圧縮機の修理を実施した。

### 9) コモンホール受水槽排水改善工事

コモンホールの受水槽は、水がオーバーフローした場合に呼び水槽に入るようになっており、屋外への排水経路がないので、オーバーフロー対策として排水改善工事を実施した。

### 10) ホストコンピュータ室（サーバー室）空調機の修繕工事

2004年度にホストコンピュータ室（サーバー室）の空調機を新規更新したが、24時間稼動しており、5年が経過したこともあり、各所に修理を必要とし、NO.1に室外機の送風機修繕工事とNO.2に室外機の圧縮機取替工事を実施した。

### 11) 館内放送設備取替工事

館内放送設備は、短大設置時に取り付けられたが、チャイムや自動火災報知機と連動しなくなるなどの問題があり、管理・保全上からも取り替え工事を実施した。

### 12) 吸収式冷温水発生機真空部品取替工事

空調用の吸収式冷温水発生機（2台）の真空低下が確認されたので、真空維持安定を保つため切替弁の交換が必要となったため、取り替え工事を実施した。

### 13) 守衛室空調取替工事

守衛室空調機は短大設置時に取り付けられたが、老朽化により稼動していないので、取り替え工事を実施した。

### 14) 野外時計修繕工事

福岡教養部で昭和59年度に卒業記念品として寄贈された野外時計が、制御盤の故障により停止したので、修繕工事を実施した。

## 3. メディア情報環境

メディア情報センターは2002年4月に、情報のデジタル化、教材のWeb化が急速に進展している現在、本学の教育の基本方針「学びの自由化と個に応じた教育」を実現するに当たって、最も重要な情報環境の整備及び学習資源の蓄積・管理・運用・開発支援を担当するセンターとして、図書館、電子計算室、メディアラボを統合した形で新設され、2004年4月には更なる機能充実を目的に、当初の名称「メディア情報学習支援センター」から「メディア情報センター」に改称し、「情報システム室」「ラーニングリソースラボ」「管理企画室」を設置した。

「情報システム室」は本学情報環境全般の基本システムの維持管理及び運用支援さらには一部開発を、「ラーニングリソースラボ」は教材のWeb化推進のための開発環境の整備及び開発支援、図書・eラーニング教材など学習資源の蓄積・管理・運用を、「管理企画室」はメディア情報センターの管理運営・企画に関する事務又は技術全般を、それぞれ担当することに、また、「エクステンションセンター福岡講座運営委員会」の業務もメディア情報センターに移管し、これも担当することになった。ただ単に旧来の組織を統合したものではなく、「学習者一人一人を中心とする」という意味で、管理運用の面でも質的な変革を目指したセンターである。

### (1) 図書館

#### 1) 概要

図書館の概要は次のとおりである。

#### 2009年度 図書館の概要

床面積	908.00m <sup>2</sup>
書架棚総延長	2040m
収容能力	80,000冊
奉仕対象学生数	256人
座席数	120席

蔵書数	74,205 冊
視聴覚資料	2,499 点
予算	3,150,000 円
開館時間 (通常 月～金)	9:00～18:00
開館時間 (通常 土)	9:00～16:00
開館日数	264 日
入館者数	15,288 人
一日平均入館者数	58 人
学生貸出冊数	1163 冊
学生一人当たり貸出冊数	3 冊
外部貸出冊数	17 冊

図書・雑誌・視聴覚資料等の蔵書詳細は以下のとおりである。

#### 和書・洋書総蔵書冊数

和書	洋書	合計
67,931 冊	6,012 冊	73,943 冊

#### 2009 年度受入蔵書冊数

	和書	洋書	合計
購 入	486 冊	1 冊	487 冊
寄 贈	10 冊	54 冊	64 冊
視聴覚	0	0	0
合 計	496 冊	55 冊	551 冊

#### 雑誌総所蔵数

和雑誌	洋雑誌	合計
454 種	57 種	511 種

#### 2009 年度受入雑誌種数

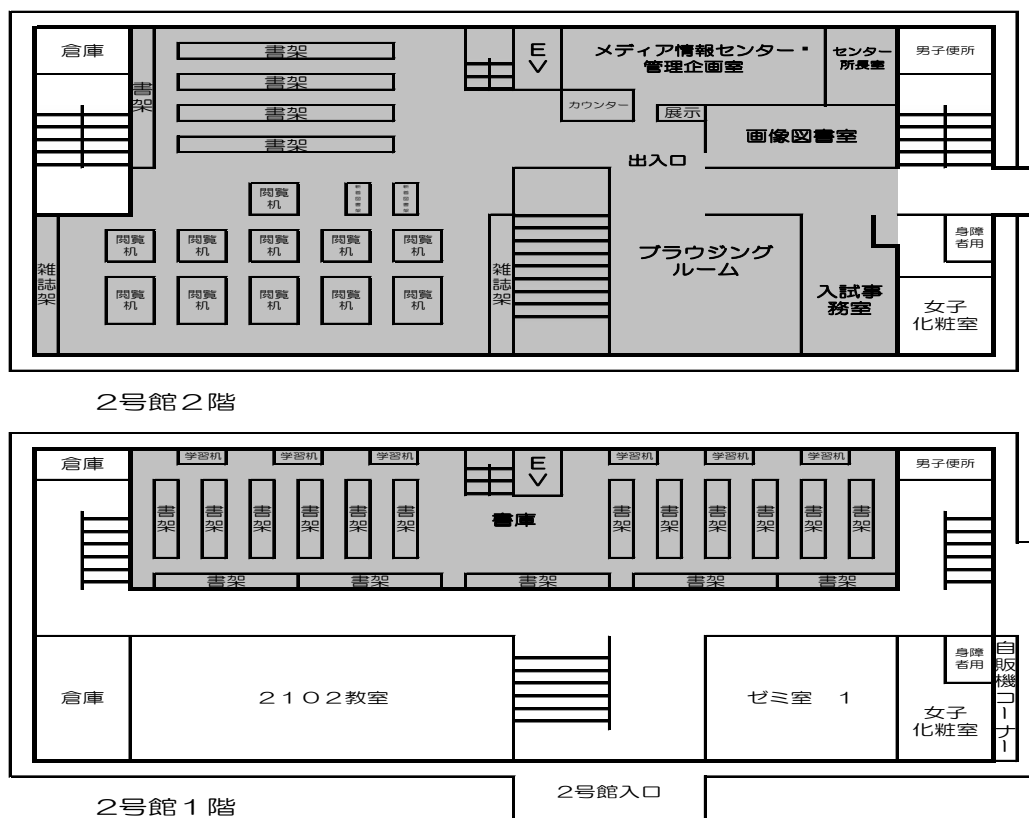
和雑誌	洋雑誌	合計
218 種	11 種	229 種

#### 視聴覚資料総数

ビデオ	LD	DVD	CD	カセット
1,326	183	310	552	128

また、全体配置図は以下の通りである。

## フロアガイド



### (機器設備の配置状況)

本学では、図書館が2号館の1階と2階に配置されている。館内には書庫と閲覧室以外に画像図書室、グループ学習室、ブラウジングルームを備えている。その概要は上記表に示したとおりであるが、その他にAV機器12セット、コピー機1台がある。パソコンは、事務用として3台、利用者の図書検索用として1台配置しており、いずれもLANに接続している。

画像図書室には、ビデオ、DVD、CD等が視聴可能な機器を12セット備えており、各種語学・資格試験講座・視聴覚教材の他に、各種の音楽や映画等のVHS・DVD・CD等を視聴することができ、利用者も比較的多い。閲覧にはヘッドホンを使用させ、かつ図書閲覧室とは分離させてあるため、音等の問題は発生しない。

新着図書に関しては、2階閲覧機のそばに専用の書架を設置しており、古くなったものから随時1階書庫に移動している。また、書架配架の乱れは利用効率が低下する点を含み整備点検を重要視している。

### (図書館システムと情報化)

本学単独のシステムとしては稼働しておらず、東海大学中央図書館に専用回線で接続し、図書館情報システム(iLiswave:TIME)を利用しており、蔵書検索にはOPACを用いている。東海大学附属図書館所蔵書誌データベースと国立情報センター目録情報システムをベースとした遡及入力作業も順調に推進しており、今年度までに33,963件(45.9%)完了している。また、図書館ホームページを公開しており、新着図書情報、図書検索が行えるようにしている。

### (図書の購入・廃棄)

2009年度の図書予算は3,150,000円であり、内、図書費・図書資料費は2,600,000円である。図書の購入は、教職員からの希望、学生の希望を優先し、館員がウィークリー出版情報等図書カタログからも選定している。これらの選定図書については、本学の教育及び研究活動に対する有用性について十分に留意し、また学生の希望も勘案の上、ラーニングリソースラボ室長の承認を得て購入している。また、資格関連の図書については、毎年内容が更新されることから、関係教員から選定してもらった資格図書

について定期購入を行っている。

廃棄図書については、以下に示す固定資産とした資料に関して、除籍資料明細書を作成し、ラーニングリソースラボ室長より所定の手続きを経て、学長の決裁の上、除籍する。

- (1) 紛失資料で所在不明となって3年を経過したもの
- (2) 破損・汚損・摩擦等が甚だしく補修不能なもの
- (3) 資料価値を失ったもの
- (4) その他ラーニングリソースラボ室長が除籍を適当と認めたもの

除籍・抹消した資料については、所定の手続きにより破棄する。

### (図書館の運営)

図書館の運営にあたっては、メディア情報センター運営会議で審議検討される。現在、ラーニングリソースラボ室長(教員)、常勤職員1名はメディア情報センター管理企画室の事務も兼務しており、多面的な業務と図書館業務を並行しているため、学生スタッフ9名と共に図書館の運営に欠かせない状況である。

### (学生の利用促進への取組み)

4月に全学生に配布するキャンパスガイド内に、図書館利用ガイドを記載しており、入学時オリエンテーションあるいは全体ガイダンスで利用方法等の概要を案内し、ゼミ別、個人・グループ別の「図書館ツアー」、「文献検索ツアー」「レポート作成ツアー」参加を積極的に参加を促している。また、ブラウジングルームや図書館資料リクエスト、利用者の要望を聴く「投書箱」を設置し、学生が利用しやすい環境を整えている。

### (他大学、地域との連携)

本学は、国立情報学研究所(NACSIS)に参画しており、他大学との図書館相互貸借を行っている。また、「福岡県・佐賀県大学図書館協議会」、「西日本図書館学会」のメンバーとして、近隣大学とも積極的な取組みを行っている。

地域との連携では、本学の所在する宗像市における「むなかた大学のまち協議会」に参画しており、市民図書館、同市内の福岡教育大学、日本赤十字九州国際看護大学との間で図書館相互貸借を実施している。その他、一般市民に対しても図書館を開放しており、図書の貸出サービスを実施している。

2009年度の相互貸借状況は以下のとおりである。

#### 他図書館との相互協力状況

相互貸借件数		文献複写件数	
本館からの貸出冊数	他館からの借受冊数	他館からの受付件数	他館への依頼件数
17	5	9	1

### (学生の利用状況)

学生の利用頻度は、2009年度総入館者数15,288人、画像図書室利用総数375人、貸出冊総数1,163冊となっている。学生の閲覧頻度が高い図書については複数冊購入しているが、これらの図書の閲覧時期が集中するため、希望図書を閲覧できないこともある。また、図書閲覧室の利用時期についても、検定試験前あるいは定期試験時期に集中する傾向があり、これらの時期は閲覧席が満席に近い状態となることがある。それ以外の時期は、1割程度の利用であり、夏期・春期休暇中の利用者は非常に少ない。

画像図書室の利用状況は、授業実施時期で1日平均31人程度の利用であり、現時点で座席数等の問題は無い。ブラウジングルームについては、利用頻度が極めて高く、時間帯によっては席が無いこともある。

## 2) 現状の問題点と改善に向けての取組み

図書購入に関しては、随時希望を受け付けているが、購入時期や購入分野に偏りが見られる。また、ここ数年で学科内に新設した新たな学習分野に関する専門図書が不足している状況である。学生の利用状況も検定試験や定期試験時期以外での利用が極めて少なくなっている。これらは、インターネットの



普及のみならずその情報量の急増に伴い、情報入手方法など学習スタイルの変化が大きく影響していることは明らかである。実社会においても、インターネット上の情報をより早く、的確に把握し分析する能力が求められており、この流れは当面続くことが予想される。一部科目においては、図書館の活用を促す課題提示など、図書館の利用促進に向けた動きもみられるが、決して十分とは言えない。その中で、学校における図書館の意義を再確認し、各科目との連携など利用促進に向けた創意工夫が求められるだけでなく、新しい図書館の創造に向けた検討も必要に迫られている。

## **(2) コンピュータ実習室**

### **1) 概要**

2006年度に行った基幹スイッチ・サーバ、クライアントの更新に伴い、実運用と照らし合わせたシステムの改善を進めつつ、安定稼働に努めた。また、文部科学省の現代的教育ニーズ取り組み支援プログラム（現代GP）の採択（2005～2006年度）により導入されたサーバ、コンテンツについても引き続き運用を行い、教育効果を高めた。

### **2) 業務内容**

#### **a. コンピュータ実習室管理**

前年度に更新した新システムの教育環境の改善と安定稼働を目指し、情報システム室の担当職員を中心に委託業者を加え作業を行った。セキュリティ対策として導入したログ収集ソフトウェア、Webカメラ等を運用し、一定の効果を上げた。

#### **b. コンピュータ実習室運営**

コンピュータ実習室は午前9時から午後7時まで開館している。午後5時以降の業務は学生アルバイトで対応した。

5つあるコンピュータ実習室は授業優先で利用され、その他空き時間は学生が自由に利用できる。この間の利用サポートは情報システム室職員により行われる。特に、MS-Officeをはじめ学生たちのレポート作成にかかわるサポート、プリンター出力時のトラブルに関するサポートを中心に行われた。情報システム室職員には、パソコン利用に関する幅広い知識が要求された。

#### **c. Web ページ管理**

下記に挙げる各 Web ページの維持管理を行った。

- 学外向け公式 Web ページ(<http://www.ftokai-u.ac.jp/>)
- 学内向け Web ページ(<http://www3.ftokai-u.ac.jp/local/student/>)
- ケータイ向け Web ページ(<http://www.pub.ftokai-u.ac.jp/i/>)

なお、学外向け Web ページは、入試情報、公開講座情報、教職員出勤状況をはじめ数多くの情報がリアルタイムで更新されるシステムになっている。学内向け Web ページには、授業情報、休講情報、就職情報、編入情報など、学生たちが学生生活に必要な情報が掲載されている。

#### **d. 維持管理**

情報システム室のホスト室には MS-Windows 系サーバが 8 台（ドメインコントローラ、ファイルサーバ、データベースサーバなど）、UNIX 系サーバが 16 台（Web サーバ、データベースサーバ、キャッシングプロキシサーバ、メールサーバ、Web コンテンツサーバ、NTP サーバなど）設置されており、これらのマシンが本学の ICT 化の根底を支えている。これらサーバマシンを 24 時間体制で監視・維持していく必要がある。

#### **e. 他部署 ICT 化補助**

ICT 化が進む学内部署において、システム側の作業は順調に進んでいるが、利用率の伸びは鈍い状況である。利用者がこれらを有効利用するためには、システムの操作方法などの把握が不可欠である。このため、利用者に対し必要な補助を行った。

#### **f. 各種情報のデジタル化**

学生カルテ、出張上申、学事伝票、業務日報の電子化・データベース化を継続して行った。

#### **g. 福岡キャンパス各組織（附属第五高校、附属自由ヶ丘幼稚園）の支援活動**

同一キャンパス内に設置されている附属第五高等学校、附属自由ヶ丘幼稚園の ICT 環境のサポートを行っている。両組織とも ICT に関する専門職員が不在であり、短大情報システム室の技術職員が技術支援・運用支援を行っている。また、一部の業務については福岡短大のシステムを利用している。

### **3) ネットワーク構成(対外接続)**

#### **a. 学内 LAN**

2006 年度の基幹 LAN 更新により、バックボーンは 20Gbps となり、これまで以上に大容量の情報通信が可能になった。また、各教室、研究室へも最大 1Gbps の LAN を提供できるようになった。

#### **b. 対外接続**

本学の対外接続は SINET 100Mbps, SuperOCN 1.5Mbps, BBIQ 100Mbps で行っている。SINET は媒体として NTT B フレッツを利用し安価に高速回線を確保できている。主にメールの送受信、学外から学内情報へのアクセスに利用している。SuperOCN 1.5Mbps の回線帯域はさほど広くないものの、OCN バックボーンに直結している高品質回線であり、遅延が非常に少なく、また高信頼性を誇る。このため、本学のメイン Web サーバや、学内実習用 UNIX サーバへの学外からのアクセスに利用している。BBIQ100Mbps はグローバル IP を ISP から DHCP によって割り当てられる回線であり、学内情報を学外に提供する回線としては利用が難しい。よってこの回線は学内端末から学外への Web アクセスに利用している。

### **4) 学外利用者への対応**

学外向け利用者へのサービスである「eTokai」(学内呼称)の利用者は、平均 2~4 名/日程度である。会員数としては 5 名程度であるが、恒常的に利用されている。サポートは学生アルバイトスタッフを中心に行っている。